

財務会計Ⅰ シラバス

校長		教頭		
----	--	----	--	--

科目	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科
財務会計Ⅰ	4	2	全	必修	会計科

1. 科目のねらい

- (1)株式会社における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を身につけ、理解を深める。
- (2)株式会社の日常的な取引を合理的・能率的に記帳する方法と会計理論の基本的なしくみについて学習する。
- (3)貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を分析し、活用する能力と態度を身につける。

2. 使用教科書・教材

・教科書:『新財務会計Ⅰ』(実教出版) ・補助教材:反復式学習と検定 会計問題集全商1級会計(実教出版)

3. 授業の展開と形態

- (1)習熟度別授業を行う(3クラス展開)

4. 学習方法

- (1)授業の始めに会計学習についての概要を説明し、学科の目標を十分に理解させ、学習に対する意識付けを行う。
- (2)学習内容の定着を図るためになるべく多くの演習時間を設けるが、授業の中では十分に確保できないため、定期的な課題プリント等による家庭学習の慣習化を図る。
- (3)課題プリントや定期テスト等はファイリングし、家庭学習に活用できるようにする。
- (4)小テストや単元テスト、月例テストを行い、学習の定着度を確認しながら授業を進めていく。
- (5)検定前の課題講座や補習授業等を行い、目標級の取得を目指す。

5. 成績評価

- (1)中間・期末考査…学期ごとに中間考査と期末考査を実施する。
- (2)検定試験…学習の成果を測定するために全商簿記実務検定1級会計を受験する。
- (3)提出物…授業の進度に応じて適宜、プリントなどを配付し提出させる。
- (4)授業態度…授業への主体的な参加の意欲や質問の回数、さらにその内容を評価する。
- (5)小テスト…中間・期末考査とは別に適宜、小テストを実施する。

※この①から⑤の点数を、以下の割合で加算して評価する。

- | | |
|----------------|-------------|
| (1)中間・期末考査…60% | (4)授業態度…10% |
| (2)検定試験…10% | (5)小テスト…10% |
| (3)提出物…10% | |

6. その他(履修上の注意)

- (1)教科書、ファイル、筆記用具(ノート、鉛筆、赤ペン、定規、マーカーなど)、計算用具(電卓)の準備をきちんとすること。
- (2)欠席した場合は、その時間の学習内容とプリントや課題の有無を、次時まで各自で確認すること。

7. 観点別評価の趣旨

授業態度などの評価については、以下の観点別評価をおこなう。

	評価の観点・内容	評価の方法
①関心・意欲・態度	企業会計の意味・役割や制度、財務諸表の作成、財務諸表からの情報を活用することなどの会計に興味を持ち、会計の学習に積極的に取り組もうとしているか。	・観察 ・提出物(ノート等)・授業態度
②思考・判断・表現	企業会計に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、工夫する能力を身に付けているか。	・観察 ・練習問題 ・小テスト等 ・定期テスト
③技能	会計の基礎・基本的な考え方と技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理するとともにその成果を的確に表現しているか。	・観察 ・練習問題 ・小テスト等 ・定期テスト
④知識・理解	会計の基礎的・基本的な考え方と技術、財務諸表の作成、その財務諸表の活用を理解しているか。	・観察 ・演習問題 ・小テスト等 ・定期テスト ・検定試験

